

TOTO

壁フレンジ

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

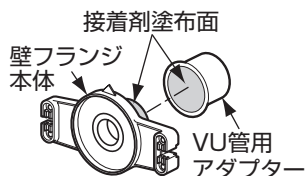
- 1** 塩ビ排水管を壁仕上げ面で切断し、残りクズを取り除く。

※壁仕上げ面から塩ビ排水管が飛び出していると、壁と陶器の間にすき間が発生する原因になります。



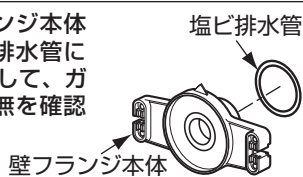
- 2** VU管用アダプターを先に壁フレンジ本体に取り付ける。
同梱のVU管用アダプター内面と壁フレンジ本体差し込み部外周に塩ビ用接着剤を塗布し、いっばいまで差し込み取り付ける。

塩ビ排水管がVU管の場合



※VU管用アダプターを先に塩ビ排水管に取り付けると、VU管用アダプターが所定の位置に取り付かず、壁と陶器の間にすき間が発生したり水漏れの原因になります。

- 3** 壁フレンジ本体を塩ビ排水管に仮挿入して、ガタの有無を確認する。



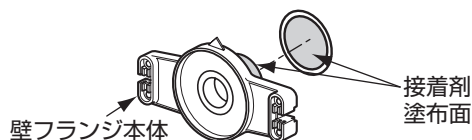
⚠注意

ガタがあり、はめあいがゆるい場合、塩ビ排水管への取り付け時には、必ず高粘度タイプの塩ビ用接着剤を使用すること
一般タイプの接着剤では水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

必ず実行

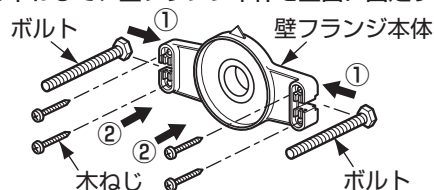
TOTO指定高粘度塩ビ用接着剤
TOTO指定の高粘度塩ビ用接着剤をご使用ください。
品番：HH05062
名称：高粘度接着剤

- 4** 壁フレンジ本体の差し込み部(VU管アダプター外周)と塩ビ排水管内面に塩ビ用接着剤を塗布し、壁フレンジ本体を塩ビ排水管にしっかり押し込み取り付ける。
(接着剤を使用しないと水漏れの原因になります)



※壁フレンジの突起部を器具中心線に合わせてください。一度接着すると、手直しができませんので、ご注意ください。

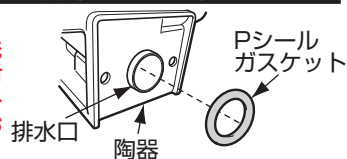
- 5** ①ボルトを壁フレンジ本体の横に差し込む。
②木ねじで、壁フレンジ本体を壁面に固定する。



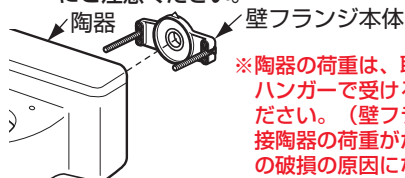
※固定が不十分だと、器具がガタつく原因になります。

- 6** 陶器排水口外周のごみや水分を取り除き、同梱のPシールガスケットを陶器側の排水口に取り付ける。
Pシールガスケットを使用する際は、接合部を上側にしてください。

※Pシールガスケットを先に壁フレンジ側に取り付けると、排水管内へはみ出し、機能を阻害するおそれがあります。



- 7** 陶器を壁フレンジ本体にナットで締め付けて接続する。
なお、ナットを強く締めすぎて、陶器を割らないようご注意ください。



※陶器の荷重は、取付ボルトやバックハンガーで受けるように施工してください。(壁フレンジのボルトに直接陶器の荷重がかかると、フレンジの破損の原因になります)

大便器、小便器にも使用可能です。